

最新 家電事情

物干し台にご用心！

酒井 寿紀

Google Earth で何ができる？

まだGoogle Earthを使ったことのない人のために、まず簡単に紹介しよう。インターネットのGoogleのサイトでGoogle Earthのソフトをダウンロードして実行するとパソコンの画面に地球が現れる。上下左右のボタンをクリックすると、地球が回転するので、自分が見たい場所を画面のほぼ中央に持ってくる。次にズームインのボタンをクリックすると、そこが拡大する。これを繰り返すと目的地の航空写真が見られる。

ためしに私の自宅を探すと、緑の屋根の家が見つかった。では、前にいたことがあるフロリダのモートルを見てみよう。日本列島が小さくなるまでズームアウトし、上下左右のボタンを使ってアメリカまで飛ぶ。フロリダ半島の大西洋岸を捜すと、そのモートルが見つかった。コの字型の建物の中庭にプールが見える。今度はロンドンに飛んで、バッキンガム宮殿に行ってみる。ちょうど、宮殿の前の通りを衛兵が行進しているところだ。見物人も点々と見える。次に、分解能が特に高いというボストンに行ってみると、鉄道の線路の枕木まで数えられる。

平面的な写真だけでなく、グランドキャニオンや大都市のビル街の3次元画像も用意されている。回転と傾きのボタンを使って、見る角度を自由に変えられる。飛行機の窓から地上を眺めている感じだ。そして、これらの航空写真に、道路、鉄道、ホテルなどの情報を重ね合わせることもできる。

機密漏洩とプライバシー侵害

このGoogle Earthについて最近二つの問題が起きている。一つは機密漏洩である。例えば、サンディエゴの海軍基地を見てみると、爆撃機、戦闘機などが多数駐機している様子がわかる。軍用機に詳しい人が見れば型式もすべてわかるだろう。また、ソウルの大統領官邸の青瓦台や、北京の政府高官の官邸がある中南海は、中がどうなっているのか外から分らないが、Google Earthで見れば敷地内の様子が手に取るようにわかる。

もう一つの問題はプライバシーの侵害だ。例えば、ビバリーヒルズのスターの大邸宅が並んでいる通りを見てみる。前に行った時に、道路に面した敷地の幅が意外と狭いのに驚いたが、Google Earthで見ると奥行が長く、奥にプールやテニスコートがある家が多い。

Google Earthが使っているデータは他社から購入したものであるため、データ自身の問題の責任は他社にある。しかし、そのデータを、北朝鮮政府からテロリスト、強盗に至るまでに、いとも簡単に無料で見られるようにしているのはGoogleだ。そして、Googleは今後どんどん解像度を上げていくという。これ以上解像度が上がると、物干し台に干してある下着の色までわかってしまうので、ご用心を！

しかし、Google Earth上には国境がない。パスポートもビザもなしに世界中どこへでも飛んで行ける。これは21世紀の人類の意識改革に貢献するかも知れない。

(酒井 IT ビジネス研究所)